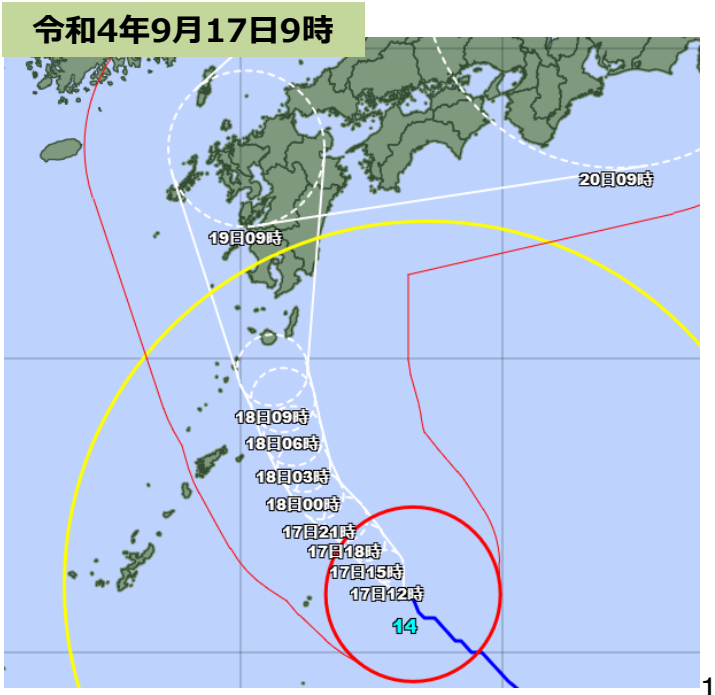
報　道　発　表　資　料
令 和 ４ 年 ９ 月 １ ７ 日
福　岡　管　区　気　象　台

特別警報級の台風！
早めの避難を！

- **大型で猛烈な台風第14号は18日朝から夜にかけて鹿児島県にかなり接近または上陸し、その後九州北部地方に上陸するおそれ**
- **経験したことのないような暴風、高波、高潮、記録的な大雨のおそれ**
- **九州南部、九州北部地方に暴風、波浪、高潮、大雨特別警報発表の可能性**
- **暗くなる前に、暴風が吹く前までに、避難完了を！**



九州南部、九州北部地方に特別警報発表の可能性

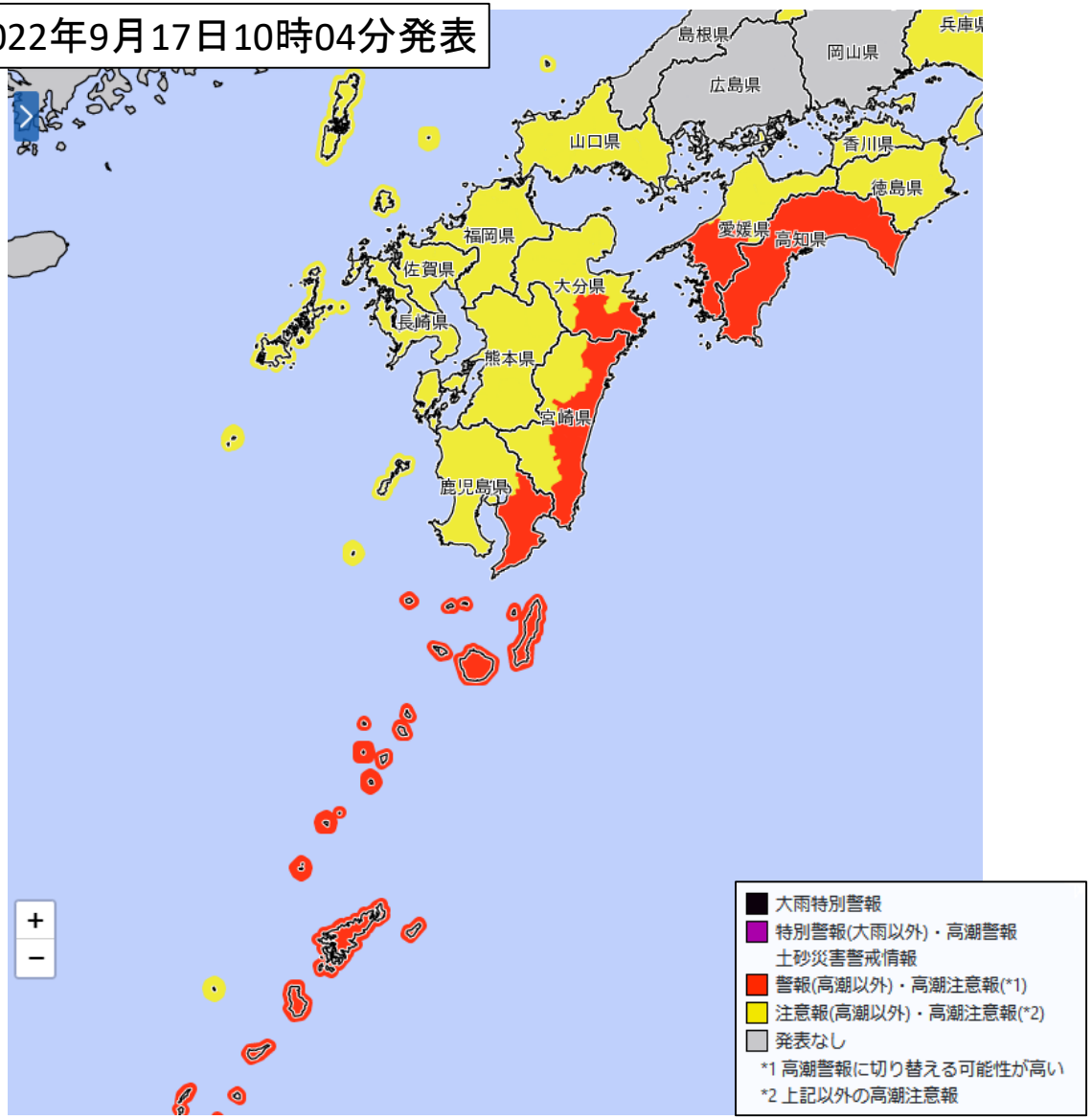
- 鹿児島県、九州北部地方に暴風、波浪、高潮特別警報を発表する可能性があります。これまでに経験したことのないような暴風、高波、高潮予想され、最大級の警戒が必要です。

  また、九州南部や九州北部地方では記録的な大雨となり、大雨特別警報を発表する可能性があります。河川の増水や氾濫、土砂災害、低地の浸水にも最大級の警戒が必要です。
- 大型で猛烈な台風第14号は、鹿児島県では18日明け方には暴風域に入り始め、18日夜にかけてかなり接近または上陸する見込みです。その後、九州北部地方に上陸するおそれがあります。
- 一部の住家が倒壊するような猛烈な風が吹く見込みのため、暴風が吹き始める前に頑丈な建物の中に移動するとともに、屋内では窓から離れてください。
- 高潮や洪水の浸水想定区域や土砂災害警戒区域などでは、暴風が吹き始める前に避難することが重要です。
- 特別警報が発表されない場合でも、記録的な大雨、暴風、高波、高潮となるおそれがあります。
- 自分の命、大切な人の命を守るため、地元市町村が発令する避難情報に従って早めに身の安全を確保してください。

※お住まいの場所が安全か否かハザードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所や安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる方は自宅の外への避難をためらわないでください。

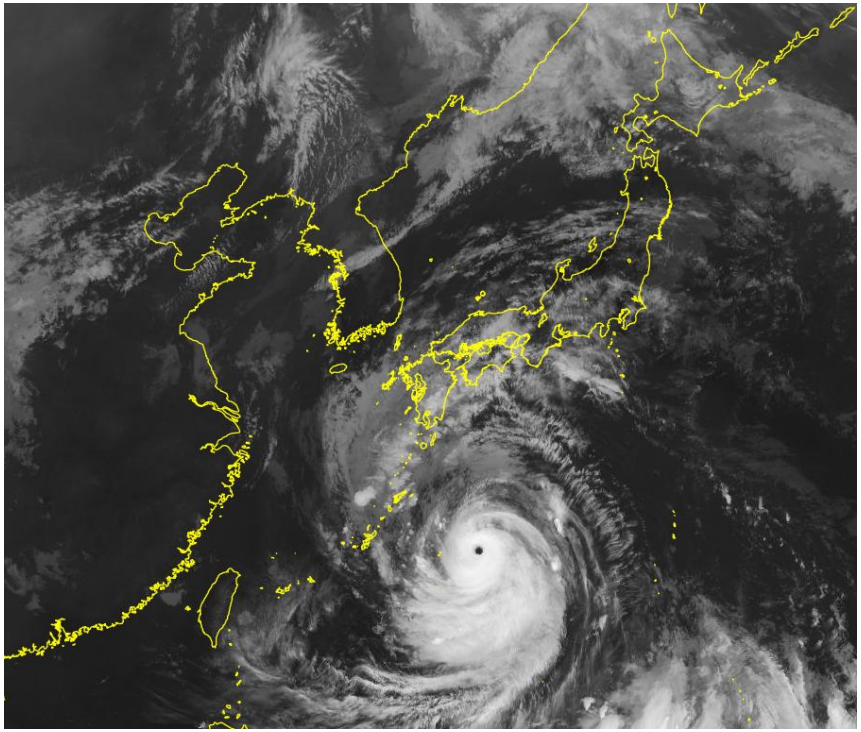
警報・注意報の発表状況

2022年9月17日10時04分発表

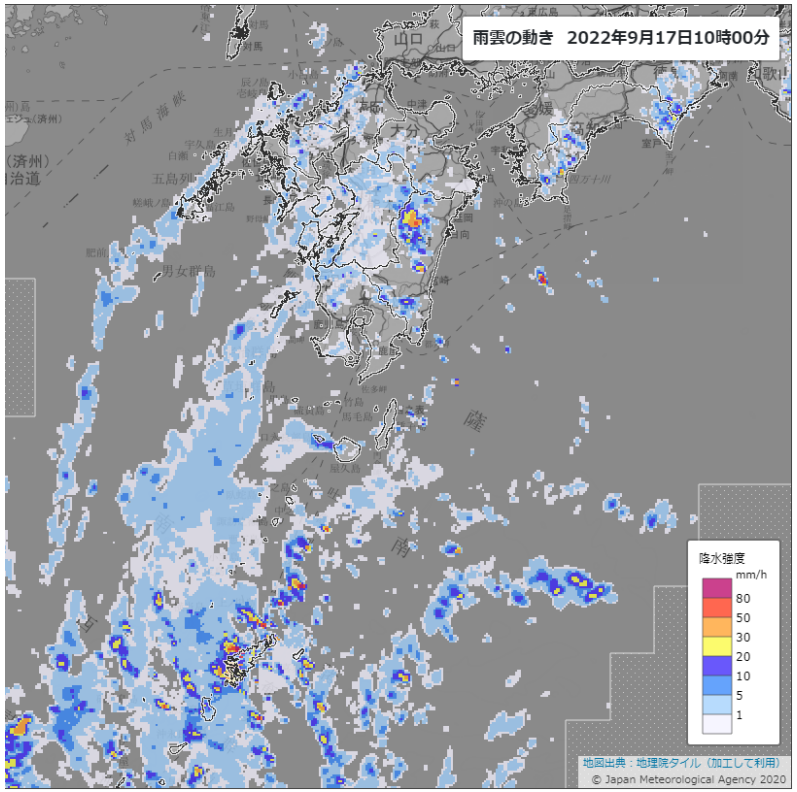


今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（気象警報・注意報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning）

衛星画像（赤外）・レーダー



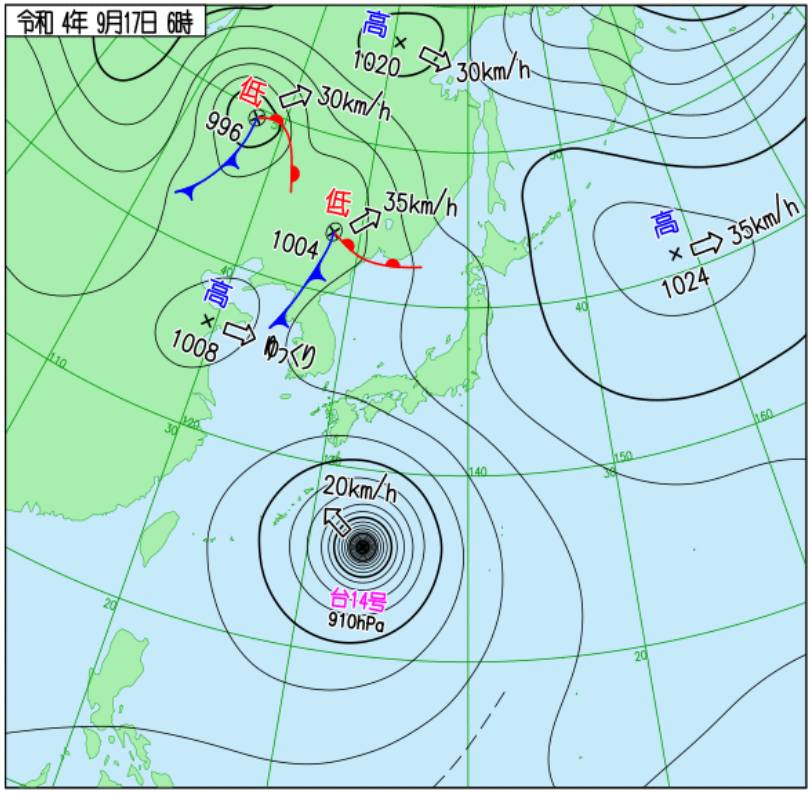
衛星画像（赤外）
（9月17日9時）



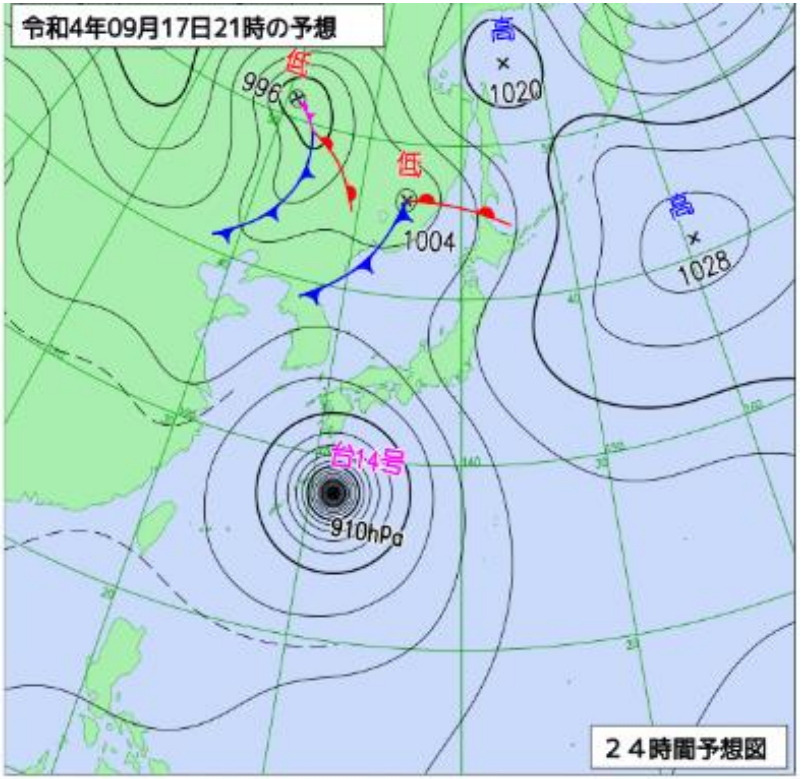
雨雲の動き
（9月17日10時）

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/）

天気図



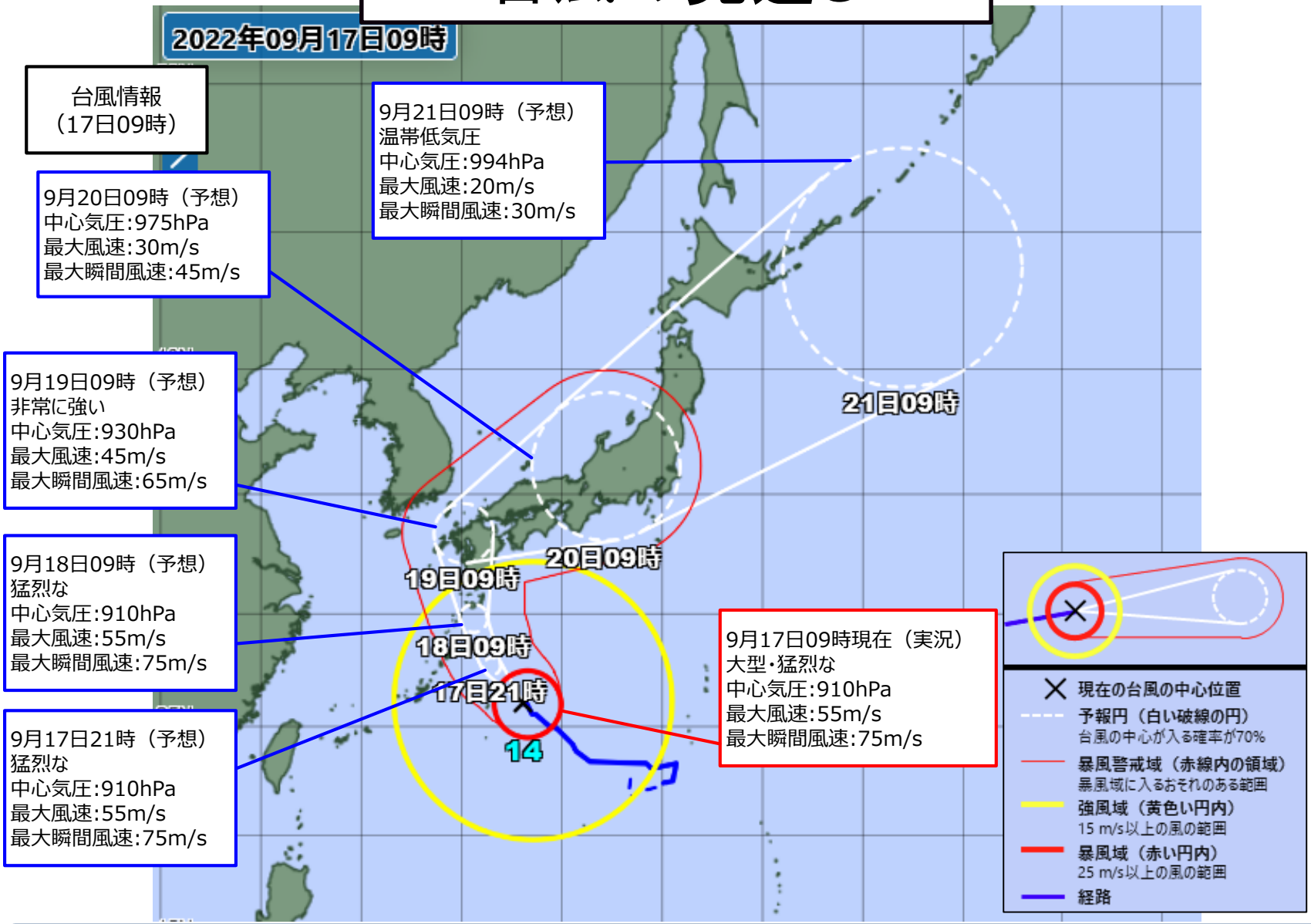
地上天気図



予想天気図
（9月17日21時予想）

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/）

台風の見通し



今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（台風情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon）

今後の見通し

【大雨の見通し】（単位：ミリメートル）

地域	18日12時までの24時間雨量	19日12時までの24時間雨量
山口県	50	100-200
福岡県	50	200-300
佐賀県	30	200-300
長崎県	40	200-300
熊本県	200	300-400
大分県	250	300-400
宮崎県	500	300-400
鹿児島県（奄美地方除く）	500	300-400
奄美地方	300	100-200

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（気象情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information）

今後の見通し

【暴風・高波の見通し】 (単位(風):メートル毎秒 (波):メートル)

地域	17日		18日		19日	
	最大風速 (最大瞬間風速)	波の高さ	最大風速 (最大瞬間風速)	波の高さ	最大風速 (最大瞬間風速)	波の高さ
山口県	15 (25)	2	25 (35)	6	30から40 (40から60)	4から5
福岡県	15 (25)	2	40 (60)	6	30から40 (40から60)	6から8
佐賀県	15 (25)	2.5	40 (60)	6	30から40 (40から60)	4から5
長崎県	16 (30)	3	45 (65)	7	40から50 (55から70)	6から8
熊本県	17 (30)	2.5	45 (65)	7	40から50 (55から70)	6から8
大分県	17 (30)	7	25 (35)	11	30から40 (40から60)	9
宮崎県	23 (35)	10	40 (60)	12	25から29 (35から45)	9
鹿児島県 (奄美地方除く)	25 (35)	10	45 (65)	13	25から29 (35から45)	9
奄美地方	30 (45)	11	45 (65)	12	15から19 (20から30)	6から8

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information)

大雨の警報級となる可能性のある期間

5時予報による

	大雨の早期注意情報				
	17日　18日			19日	20日
	-18	18-06	06-24		
山口県			［中］	［高］	
福岡県			［中］	［高］	
佐賀県			［中］	［高］	
長崎県			［高］	［高］	
熊本県		［中］	［高］	［高］	
大分県		［高］	［高］	［高］	
宮崎県	［高］	［高］	［高］	［高］	［中］
鹿児島県 （奄美地方除く）	［中］	［高］	［高］	［高］	
奄美地方	［中］	［高］	［高］		

暴風・波浪の警報級となる可能性のある期間

5時予報による

	暴風の早期注意情報				
	17日　18日			19日	20日
	-18	18-06	06-24		
山口県			［高］	［高］	［中］
福岡県			［高］	［高］	［中］
佐賀県			［高］	［高］	
長崎県		［中］	［高］	［高］	
熊本県		［中］	［高］	［高］	
大分県		［中］	［高］	［高］	［中］
宮崎県		［高］	［高］	［高］	
鹿児島県（奄美地方除く）	［中］	［高］	［高］	［高］	
奄美地方	［中］	［高］	［高］	［中］	

	波浪の早期注意情報				
	17日　18日			19日	20日
	-18	18-06	06-24		
山口県			［高］	［高］	［中］
福岡県			［高］	［高］	［中］
佐賀県			［高］	［高］	
長崎県			［高］	［高］	
熊本県			［高］	［高］	
大分県	［高］	［高］	［高］	［高］	［中］
宮崎県	［高］	［高］	［高］	［高］	
鹿児島県（奄美地方除く）	［高］	［高］	［高］	［高］	
奄美地方	［高］	［高］	［高］	［中］	

高潮の警報級となる可能性のある期間

５時予報による

	高潮の早期注意情報				
	17日　18日			19日	20日
	-18	18-06	06-24		
山口県			［高］	［中］	［中］
福岡県			［高］	［中］	［中］
佐賀県			［中］	［中］	
長崎県			［中］	［中］	［中］
熊本県			［中］	［中］	
大分県			［中］	［中］	
宮崎県					
鹿児島県 （奄美地方除く）		［中］	［中］		
奄美地方					

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。

気象警報・注意報

キキクル（危険度分布）

指定河川洪水予報

土砂災害警戒情報

気象情報

台風情報

雨雲の動き

天気図

気象衛星ひまわり

降り始めからの総雨量

気象庁防災情報 Twitter

@JMA_bousai
気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

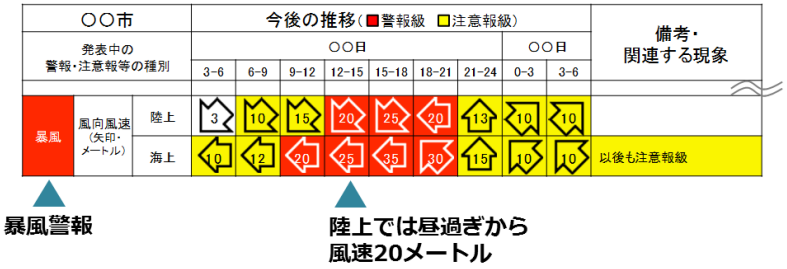
気象庁 YouTube

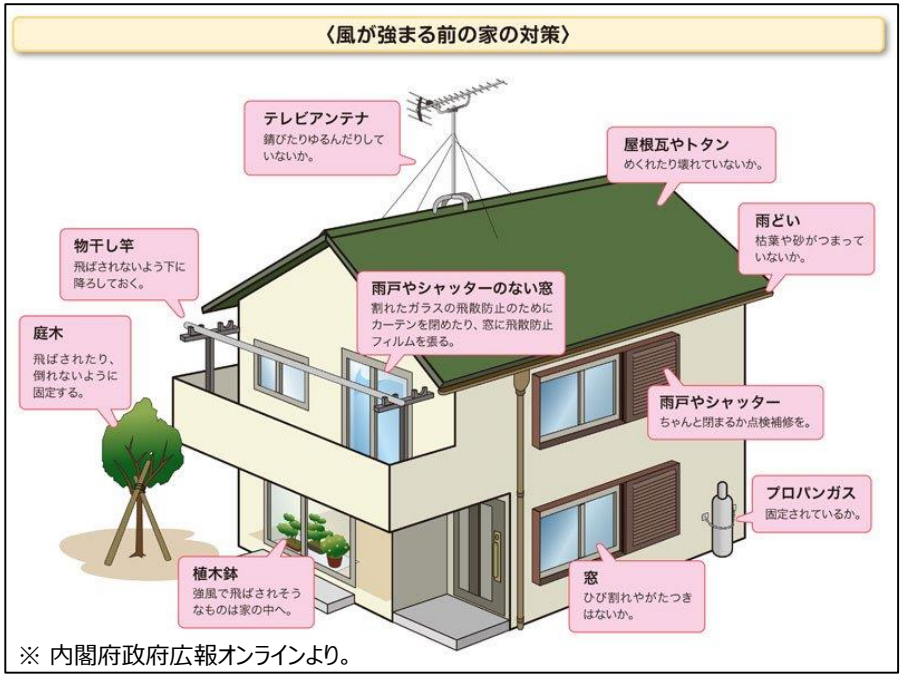
気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の模様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。

- 避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
  http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
  http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf

（参考）暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。





※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速（m/s） おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速（m/s）
20～25 ～約90km/h	何かにつかまっていられないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25～30 ～約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30～35 ～約125km/h				
35～40 ～約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40～ 約140km/h～			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html）

（参考）近年の主な暴風による災害

平成30年台風第21号

- 大阪府田尻町関空島（関西空港）では最大風速46.5メートル、最大瞬間風速58.1メートルを観測。

- 死者14人、負傷者980人、住家全壊68棟、半壊833棟、一部損壊97,009棟等の被害が発生。
  ※総務省消防庁とりまとめ（令和元年8月20日現在）
- タンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生。
  ※荒天時の走錨等に起因する事故の 再発防止に係る有識者検討会 報告書（平成31年3月）
- 近畿地方を中心に最大停電戸数約224.7万軒の大規模停電が発生した。
  ※台風21号による停電について（第56報）関西電力（平成30年9月10日）

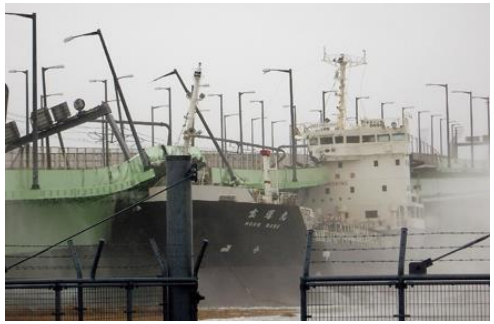
令和元年房総半島台風

- 千葉県千葉市では最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルを観測。

- 千葉県を中心に、住家全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生。
  ※総務省消防庁とりまとめ（令和元年12月23日現在）
- 鉄塔２基の倒壊、1,996本の電柱が倒壊・損傷により、千葉県を中心に最大停電戸数約93.5万軒の大規模停電が発生した。
  ※令和元年台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループ＜中間報告書＞（令和2年1月21日）



令和元年房総半島台風
（経済産業省提供資料）



平成30年台風第21号
（海上保安レポート2019より）



令和元年房総半島台風
（気象庁職員撮影）

（参考）高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

○○市の警報・注意報（今後の推移）

年　月　日　時　分発表

○○市	22日							23日		備考・
	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	
大雨（浸水）	30	50	50	50	50	50	50	60	60	
暴風	23	25	25	30	30	35	40	40	40	以後も警報級
波浪	8	8	9	9	10	10	10	10	11	以後も警報級 うねり
高潮	1.7	1.7	0.7	0.7	1.8	1.8	1.7	1.8	2.0	以後も警報級 ピークは3時頃
雷										以後も注意報級

■ 大雨特別警報
■ 特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報
■ 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
■ 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
■ 予想期間外

*1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

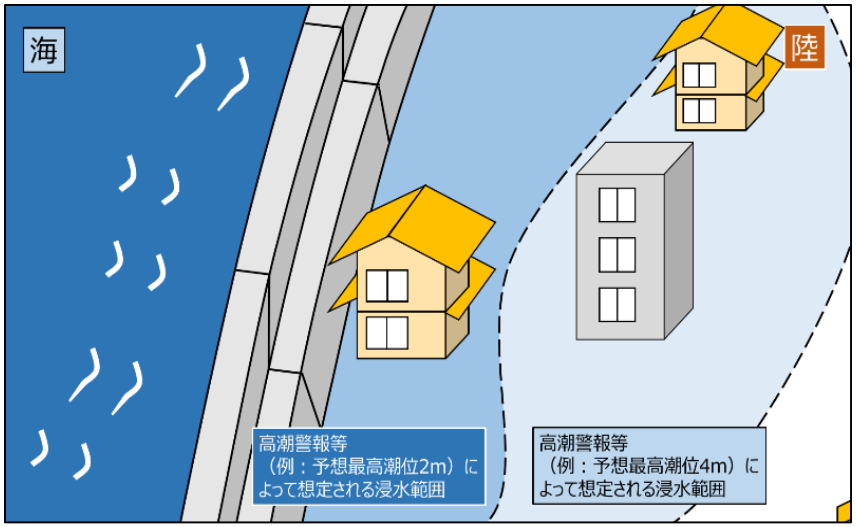
予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

※潮位が上昇する前に暴風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例







（参考）過去の主な高潮による災害

伊勢湾台風（昭和34年）

- 伊良湖(愛知県渥美町)では最大風速45.4メートル、最大瞬間風速55.3メートルを観測。名古屋港では潮位389cmを観測。

- 死者4,697名、行方不明者401名、負傷者38,921名、住家全壊40,838棟、半壊113,052棟、床上浸水157,858棟、床下浸水205,753棟等の被害が発生。　※消防白書より
- 紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、特に愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水、三重県では桑名市などで同様に高潮の被害を受けた。

平成11年（1999年）台風第18号

- 牛深(熊本県牛深市)では最大風速27.7メートル、最大瞬間風速66.2メートルを観測。大浦(佐賀県)では潮位301cmを観測。

- 死者31名、負傷者1,218名、住家全壊338棟、半壊3,629棟、床上浸水4,895棟、床下浸水14,755棟等の被害が発生。　※消防白書より
- 九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過時に著しい高潮となり、熊本県不知火町では高潮により12名が死亡した。



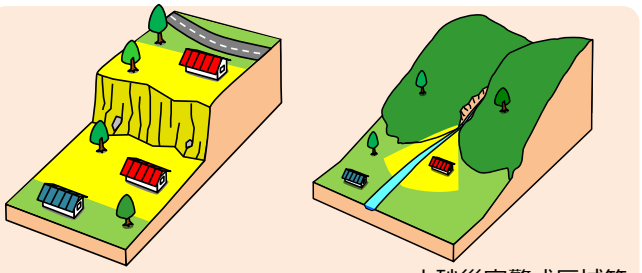
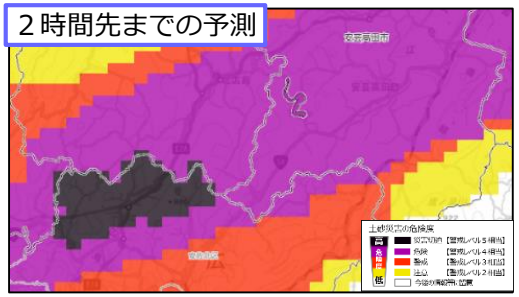
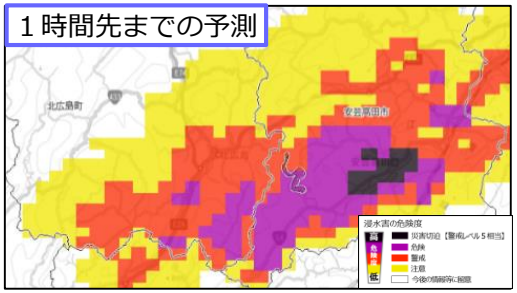
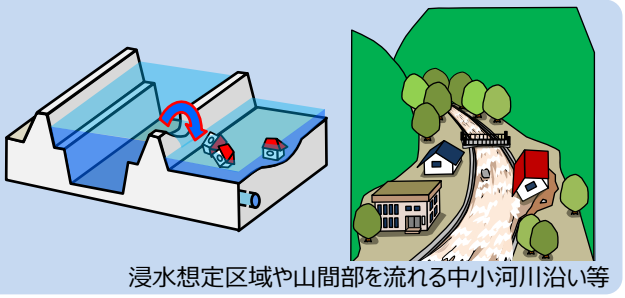
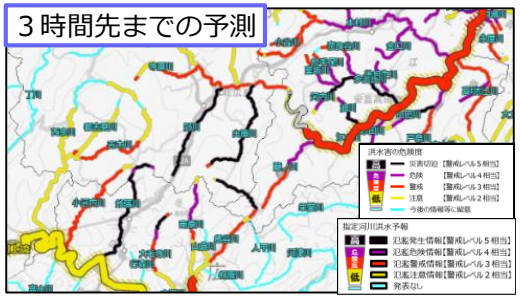
伊勢湾台風
（出典：国土交通省木曽川下流工事事務所『自然と人とのかかわり－伊勢湾台風から40年－』）



平成11年（1999年）台風第18号
（出典：建設省九州地方建設局）

（参考）大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「キキクル（危険度分布）」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

	命に危険が及ぶおそれがある場所	キキクル（危険度分布）	災害の例
土砂災害	 土砂災害警戒区域等	 2時間先までの予測	
浸水害	 住宅の地下室や道路のアンダーパス等	 1時間先までの予測	
洪水災害	 浸水想定区域や山間部を流れる中小河川沿い等	 3時間先までの予測	

（参考）大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。


広島市の土石流による被害の様子
（平成26年8月20日気象庁撮影）

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。


福岡県朝倉市を流れる北川の様子
（出典：国土地理院ホームページ）

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。


茨城県常総市の浸水被害
（資料：国土交通省関東地方整備局）

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。



ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、
安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

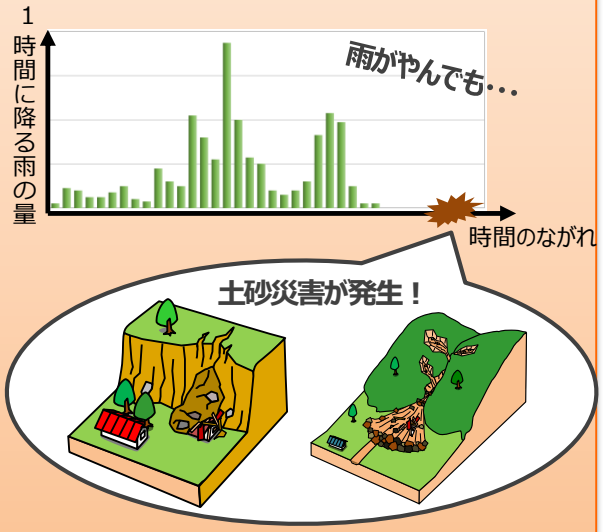


（参考）大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

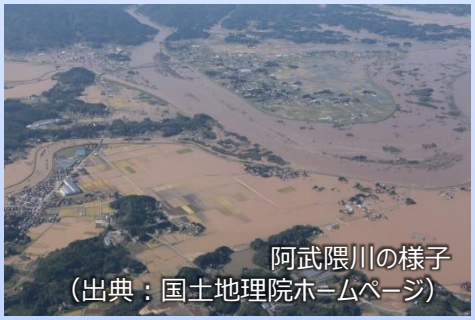
土砂災害の危険が継続！

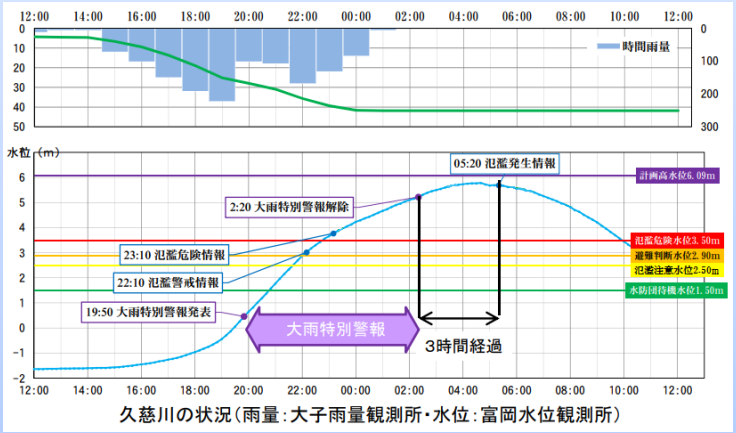
雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。


阿武隈川の様子
（出典：国土地理院ホームページ）



久慈川の状況（雨量：大子雨量観測所・水位：富岡水位観測所）

（出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆）

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の７河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



（参考）突風や雷による災害への備え

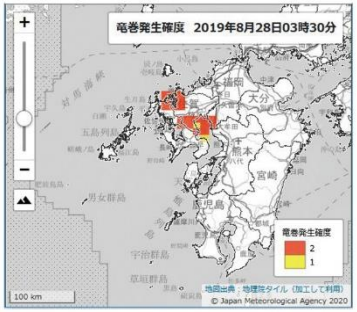
- 台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風や落雷に注意が必要。
- 竜巻発生確度ナウキャストや雷ナウキャストなどの防災気象情報を活用し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には身を守るための行動を。



日本版改良藤田スケールにおける階級と風速の関係
～竜巻等の激しい突風によって起こり得る被害～

階級	風速（3秒平均）	主な被害の状況（参考）
JEF0	25～38m/s	・物置が横転する。 ・自動販売機が横転する。 ・樹木の枝が折れる。
JEF1	39～52m/s	・木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離したりする。 ・軽自動車や普通自動車が横転する。 ・針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53～66m/s	・木造の住宅の小屋組（屋根の骨組み）が破損したり飛散したりする。 ・ワンボックスの普通自動車や大型自動車が横転する。 ・鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 ・墓石が転倒する。 ・広葉樹の幹が折損する。
JEF3	67～80m/s	・木造の住宅が倒壊する。 ・アスファルトがはく離したり飛散したりする。
JEF4	81～94m/s	・工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離したり脱落したりする。
JEF5	95m/s～	・低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊したりする。

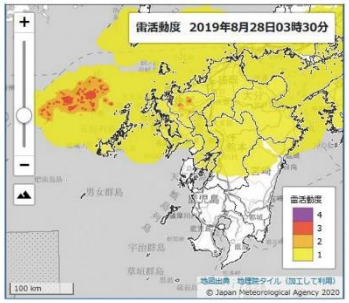
竜巻発生確度ナウキャスト



発生確度	
2	竜巻などの激しい突風が発生する可能性があり注意が必要である。 適中率：7～14%程度 捕捉率：50～70%程度 発生確度２となっている地域に竜巻注意情報が発表される。
1	竜巻などの激しい突風が発生する可能性がある。 適中率：1～7%程度 捕捉率：80%程度

https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/#elements:trns

雷ナウキャスト



活動度	雷の状況	
4	激しい雷	落雷が多数発生している。
3	やや激しい雷	落雷がある。
2	雷あり	雷光が見えたり雷鳴が聞こえたりする。 落雷の可能性が高くなっている。
1	雷可能性あり	現在は雷は発生していないが、今後落雷の可能性がある。

https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/#elements:thns

（参考） ５段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	キキクル（危険度分布）		相当する警戒レベル
5	**命の危険　直ちに安全確保！** ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	**緊急安全確保** ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報	5相当
	＜警戒レベル４までに必ず避難！＞					
4	**・危険な場所から全員避難** ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	**避難指示** **第４次防災体制** （災害対策本部設置）	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	4相当
3	**危険な場所から高齢者等は避難** ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	**高齢者等避難** **第３次防災体制** （避難指示の発令を判断できる体制）	※大雨警報 洪水警報 高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒	氾濫警戒情報	3相当
2	**自らの避難行動を確認** ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	**第２次防災体制** （高齢者等避難の発令を判断できる体制） **第１次防災体制** （連絡要員を配置）	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報	注意	氾濫注意情報	2相当
1	**災害への心構えを高める**	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	早期注意情報（警報級の可能性）			

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル３（高齢者等避難）に相当します。